



人口 6,130人(-19)
 男 2,957人(-3)
 女 3,173人(-16)
 世帯数 1,749戸(-3)
 平成元年3月1日現在人口
 ()は対前月比



親子3代を先頭に……

鶴野内と卸兒を結ぶ「羽坂バイパス」が全線開通し、2月18日竣工式が行われました。

神事の後、テープカットやくす玉割りに続き、吉田松太郎さん(田野)、中野清太郎さん(田野)、寺原新蔵さん(羽坂)の3家族3代を先頭に渡り初めをしました。

(4ページに関連記事)

元 / 4

第454号

うらうらと 照れる光に けぶりあひて
咲きしづもれる 山ざくら花

牧水

農林業振興を柱に

平成元年度 一般会計予算は 27億3,400万円

予算のおおまか

三月定例町議会が十日に招集二十三日までの日程で開かれ、平成元年度予算等を提案、原案どおり可決されました。

平成元年度予算は、町営住宅建設等の新規事業、「ふるさと創生」に関する財源措置、さらに昭和六十三年度に創設された消費税法に対応する経費も加わり前年度と比較すると大幅な伸びとなりました。

一般会計を中心に予算の概要をお知らせします。

一般会計予算は、二十七億三千四百万円、前年度に比べ十一・五％の増となりました。

歳入を構成割合別にみますと、歳入が構成割合別にみますと、地方交付税が十二億八千八百五十四万円（四七・一％）と最も多く、次いで県支出金が三億六千五百八十五万円（一三・四％）、町税二億五千五百五十三



▶ 議会で所信を述べる 高森町長

万六千円（九・三％）となり、歳入の調達分類で示すと地方交付税等の依存財源が歳入全体の八一・三％を占め、残りが町税等の自主財源となっています。

前年度に比べて、町税は税法改正による税率の変更等により一・六％減少しています。

地方交付税は、「ふるさと創生」に係る一億円の内、平成元年度に交付される八千万円が編入されていますので一三・五％の伸びとなっています。

国、県支出金は、継続事業の増や、新規事業として町営住宅建設に対する補助金も加わり、一六・七％の伸びとなりました。

町の借金となる町債は、財政健全化の見地から、極力抑制されていますが、本年度は、町営住宅建設のために発行する起債も加わり二二・〇％の増となりました。

平成元年度から導入される消費税は、地方公共団体の収入は



▶ 林業構造改善事業で開設中の庵登線

ほとんどが課税対象外となりますが、町営住宅使用料や、ごみ収集手数料などについては課税対象となり、消費税分を加算して計上されています。

歳出の性質別では、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が十一億四千九百九十九万円（四二・一％）、普通建設事業費などの投資的経費が九億九千四百二十二万円（三六・四％）、物件費などの消費的ものを含むその他の経費は、五億八千九百九十七万円（二一・五％）となりました。

目的別にみると、農業構造改善事業の終了に伴い六・一％の減となりましたが、六億二千五百四十九万三千円（二二・九％）と農林水産業の振興に係る経



▶ 整備が進む牧水公園

費が最も多く、次いで公債費、土木費の順となっています。

農林業の振興を図るための主な事業は次のとおりです。

農林総合整備モデル事業
第三期山村振興農林漁業対策事業
県単土地改良事業
農免林道整備事業
林業構造改善事業

なお、本年度は、町制施行二〇周年、山陰百姓一揆三百年にあたり、記念事業に係る経費もそれぞれ予算に計上されています。

また、前年度から実施しています「リフレッシュふるさと推進モデル事業」では、本年度は貸コテージ等を建設整備する経

費が計上されています。

さらに、消費税導入により、地方公共団体も消費者として負担増が生じることとなり、歳出予算面でも、消費税を含めて計上されています。

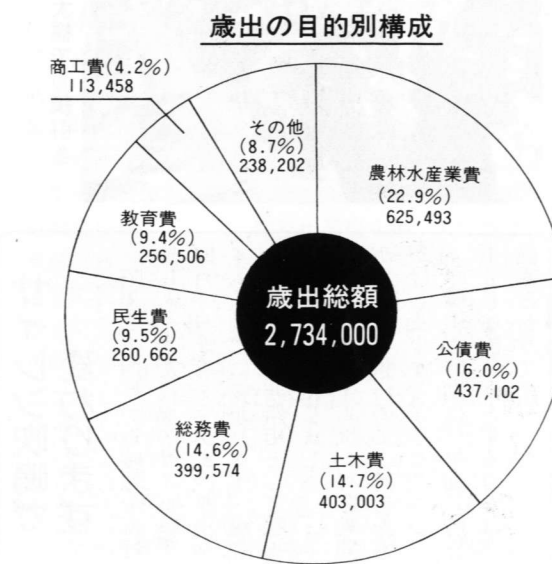
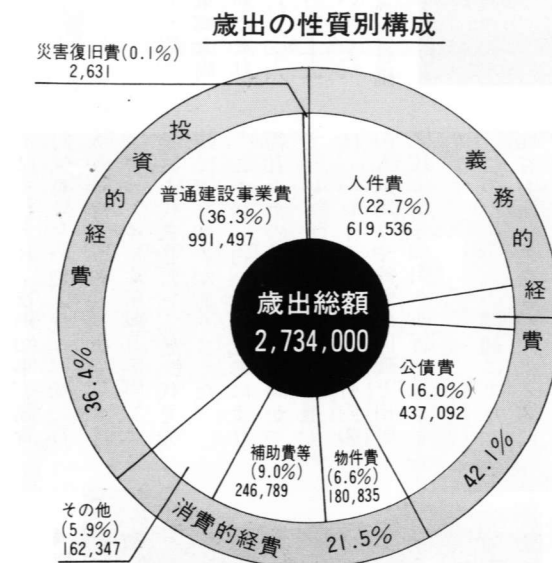
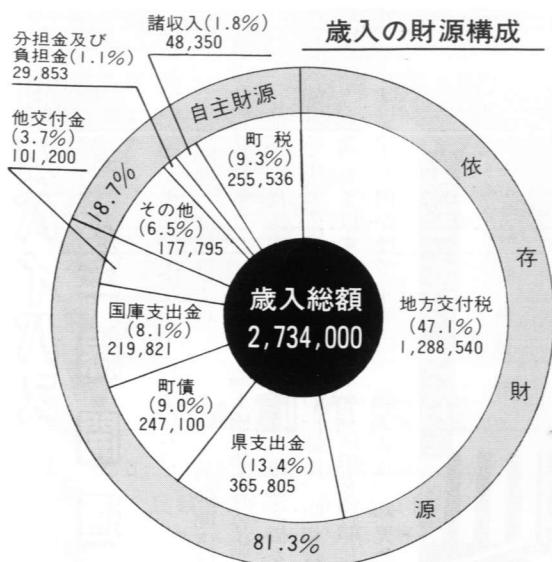
町営住宅 10戸を建設

年次計画で、町営住宅が建設されますが、本年度では又江野に10戸分の建設事業費として、約一億七千万円が計上されています。



▶ 町営住宅建設予定地

平成元年度予算の状況 (単位:千円)



会計	金額	割合
一般会計	2,734,000千円	11.5%
特別会計		
国民健康保険事業特別会計	475,950千円	5.2%
老人保健特別会計	470,055千円	25.9%
簡易水道事業特別会計	67,115千円	34.3%
国民健康保険病院事業会計	251,156千円	5.6%

() は対前年度増減比



▲ 創作大会

3月5日、町子ども会育成連絡協議会主催の創作大会が町中央公民館で行われ、各地区の子供会から100人が参加して粘土でコーヒーカップ作り等を楽しみました。

当日は、伊勢ヶ浜陶房の友清国夫さんを招いて、「焼きものができるまで」について説明を受け、できあがった作品は同陶房の窯で焼きあげてもらうことになりました。



▲ 防火ポスター展で表彰

～ 春季全国火災予防運動 ～

春季全国火災予防運動が2月28日から3月13日まで行われましたが、この運動行事の一環として、日向市・門川町・東郷町の広域消防では小中学生を対象に防火ポスター展を寿屋日向店で開催しました。

本町より出品された71点からは、次の7名の児童・生徒が表彰を受けました。

東郷町長賞	坪谷小学校 6年	矢野理奈
東郷町議会議長賞	坪谷小学校 1年	井上知己
東郷町教育長賞	坪谷小学校 2年	矢野長志
東郷町消防団長賞	坪谷小学校 2年	矢野友紀
危険物安全協会会長賞	坪谷中学校 2年	寺原淳子
銀賞	坪谷小学校 1年	前川 裕
佳作	寺迫小学校 6年	田代玲子

▼ 歩こう会

町青年団協議会は2月26日、日向市のサンパークから東郷町役場までの20kmを歩く、恒例の「歩こう会」を実施しました。

これは、8年前から続いているもので、当日は、町内の青年約40人が午前0時にサンパークを出発し、途中2ヶ所で休憩を行い、5時間かけて全員が完歩しました。

トピックス



▼ 安全祈願

横瀬渡舟管理組合では2月19日、横瀬河原において今年一年の航行の安全を祈願しました。

これは、年々数少なくなっていく渡舟を守り続けるため関係者が本年から行っているものです。



短歌

尾鈴短歌会

哀悼の甲旗掲げし里に降る雨は
しとしとと野を濡らしゆく
若藤 延世

娘の眠る墓地の辺りは紅葉終え
伊賀の丘にもやがて雪降る
黒木 久子

筆を持ち我が有る命尊びて歌書
く今朝は初霜うすく
井上キミエ

東京の孫は見飽かずいぶかしむ
出しつ放しの山寛水
矢野 文雄

離れ住む娘に送る鏡餅妻が添え
いる孫のお年玉
本多 茂雄

羽坂バイパス 全線開通



国道四四六号線の「羽坂バイパス」が全線開通し、二月十八日竣工式が行われました。

バイパスは、全長約四、六キロの二車線で歩道が併設され、昭和五十二年の着工以来、総工費二十二億九千万円かけて完成しました。

また、この区間には、東郷大橋、富士橋、猪の月谷橋が新設され、このうち東郷大橋を含むバイパスの一部は、昭和六十三年十一月から供用を開始していました。

竣工式は、卸児の猪の月谷橋



東郷大橋での臼太鼓踊り

そばで行われ、松形知事、高森町長をはじめ地区民など約二百人が出席し、神事のあと、テープカットやくす玉割りに続いて、地区を代表した三家族三代を先頭に渡り初めがありました。

この後、白バイの先導により約五十台の車が鶴野内へ向かってパレードし、東郷大橋の上では、パレード終了後、鶴野内の臼太鼓踊りや鶴野内区民と田野区民による綱引きが行われました。

このバイパスの開通により、坪谷方面への交通がスムーズになったばかりでなく、児童・生徒の登下校の際の安全確保や、国産材加工供給施設への木材輸送も便利になりました。



東郷大橋での綱引き

図書室 びゅん!

サイレン吹鳴が変わります

昭和二十四年から時報を告げ親しんできた役場のサイレンが、四月一日からミュージックチャイム(音楽)に変わります。現在のサイレンは非常用として吹鳴することにいたしました。ミュージックチャイムは、可聴範囲が約一、二と狭いのでご迷惑をおかけしますがご了承ください。吹鳴する時間は、午前八時三十分を午前八時とするほかは、従来どおりです。



新購入図書を紹介しします。

- リラ冷えの街○母の言いぶん
- 長女が読む本○ガラスの中の少女○ノルウェイの森(上下)
- 剣客商売(五冊)○巴里の空
- あかね雲○城と女○美智子妃
- ダンスダンスダンス(上下)
- 男女七人秋物語○駅○終列車
- 懲役絵図師○熱い手紙○わたしの岩切さん○天皇と東条英機の苦悩○やさしい時代の経済学
- 淋しい女は太る○くろしお○チャイコフスキーコンクール○春日局○十七歳○パリ行最終便
- 男子七十にして厨房に立つ○

城と女○悲しきヒットマン○夢一途○十番斬り○八号古墳に消えて○雷獣○ビジネスマンの父より娘への二十五通の手紙

※県図書(やまびこ号)が三十一冊不明になっています。机や本棚のすみで小さくなっているかもしれません。見かけられましたら教育委員会まで届けてください。

点描 (90)

「ぜんまい」づくりで村おこし

阿蘇山の東ふもと熊本県に波野村という村があります。完全な農山村で標高七百メートル位の高冷地で、東郷町の三分の一の面積、人口、戸数といった村です。村全体平均して高低がなく、杉の植林、田畑が広がっています。今回、町観光協会とむらおこし推進協議会の役員で、「ぜんまい」で村おこしをやっているこの村を訪ねました。

波野村役場農政課の話によると、昭和五十二年度から「ぜんまい」栽培を始めたそうです。五人組協業体により、山野からぜんまいの株を掘り採って、栗林の畑に植えたのが始まりで、現在は八人組協業体で手広く栽培しています。

私たちは、栽培している現地を見せてもらいました。なる程広い栗林の中に多くのぜんまいが植えられています。初めは二七haの面積であったのが、今では五haに拡大しつつあるとのこ

とです。畑は、手入れが行き届いており、栗の収穫に加えぜんまいも取れるということで、一石二鳥の利益をあげることができそうです。

栽培は植付けて四年目からぜんまいを摘み、村の乾燥機で精選して農協に出荷し、各地の販売ルートに乗せるということで、価格は1kg七千円以上だそうです。

私たちの町でも、小さな協業体でいから各地区で「ぜんまい」づくりをやってみたらどうでしょうか。東郷町にも山野至るところにぜんまいは自生しています。これを遊休している畑に利用してみることは出来ないものかと痛切に感じました。「なんでも挑戦、みんなが参加」の精神で、まずは、自家用から始めると良いのではないのでしょうか。



▶ぜんまいの植えられている栗林

か。

今回の視察団一行は、次の方々ですので、詳しく聞きたい時はこの方々にお尋ねください。

奈須熊雄・佐藤芳雄・池田平美・伊東建児・佐藤三男・田中ユミ子・水野伴子・白川志美子

観光協会
 田原玄房・是則千平・小川義信・塩月清久・杉田幸代・都甲鶴男

事務局
 企画財政課長外三名
 合計十八名
 新ひまわり運動町民会議
 会長 都甲鶴男

若山牧水

牧水の歌
 町内の歌碑
 SWS
 教育長
 渡辺邦彦

うす紅に
 葉はいちばやく萌えいでて
 咲かむとすなり山ざくら花

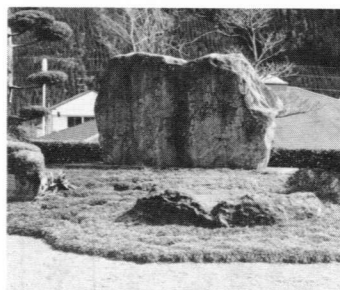
ご承知のとおり、昭和六十年は牧水生誕百年の年で、各種の記念事業が行われましたが、町民の皆さんのご協力により、役場前にこの「山ざくら」の歌碑が建立されました。

除幕式は、その年の十月二十四日に、町内外からの多くの方々の参列のもとに盛大に行われましたが、その時、若山旅人さんも大悟法利雄さんも「これはすばらしい。おそらく牧水の歌

碑では、日本一と言ってもいいでしょう」と激賞されました。さて、この歌について述べてみることにしましょう。

この歌は、第十四歌集「山桜の歌」の中にあります。牧水は少年時代から花の中で特に山桜が好きで「私は山桜の花を好む。すべての花のうち、最もこれを愛する。」と自ら書いています。

この歌は、大正十一年(三十七歳)の春、静岡県伊豆湯ヶ島温泉での作となっています。牧水は大正九年の夏、東京から沼津に移りましたが、ふるさと東郷を思わせる湯ヶ島温泉の風物をとて愛したそう、昭和三年に没するまで、三月から四月にかけて山桜の花が咲く時期になると、しばしばここにやってくる滞在了らうでありました。この歌は、その時作った「山ざくら」と題しての一連二十



▲役場前の歌碑

三首の中のひとつであります。数多い桜の歌の中でも、特にこの歌は、いま、まさに咲き出ようとする桜を詠じた歌として特色のある歌だと言われており、牧水後期の清澄な自然詠の代表作とも言われております。また、牧水自身も会心作の一つに数えていたようでありました。

この歌でわかるように、山桜が咲きはじめる頃の美しさは、何とも言えぬ鮮麗さを私たちに感じさせますが、その美しさを牧水は讃えて歌ったのであります。

東郷町には、冠岳をはじめあちこちで山桜が見られます。牧水は幼少の頃、ふるさとの野山や川で遊んだ思い出がいつでも忘れられなかったのでしょうか。晩年の作には、ふるさとをなつかしんだと思われる自然詠が数多く見られるのであります。

健康余話

37 ケガをしたら

東郷病院外科
 鈴木俊一

今年二十一歳のB君は、週末を日向で過ごしました。夜遊びがたり、今日も深夜客時の帰宅です。町内国道のゆるやかなカーブでついねむり運転をし土手にぶつかってしまいました。シートベルトをせず、運転席の窓を開けていたため、外に投げ出されてしまいました。通りかかった方の連絡により、救急車で午前一時前に東郷病院に運ばれてきました。

話けると名前を言え、意識はありません。呼吸は一分間に十五回、脈拍は九十ですが緊張良好、血圧は百二十〜八十でした。今すぐ命に別条はなさそうです。服を脱がせて診察しようとしませんが脱がせられず、やむなく服を切って上半身を裸にしました。胸部の聴診、腹部の触診、骨盤の検査、手足、首を動かせるか確認しました。頭を何箇所か切っており、眼の付近は、はれて



望まれることがあります。

をとり、異常がないことを確認治療開始です。

傷はすべて局所麻酔をしてオキシフル等で洗い、丹念にゴミをおとして、傷をきれいにします。創がひらいている部位は、創縁をきれいに切りそろえてから縫合します。結局B君は、どこも化膿せず、無事に乗り切り退院しました。二ヶ月後、ほとんどの傷は目立たなくなり、曲げられなかった右膝もうまく曲がり、和式便所で用を足せるようになりました。仕事に復帰し元気に働いています。

もしB君が病院で治療をしなかったとしたら、傷は化膿し、二ヶ月後でもふさがらない傷もあることでしょう。B君の場合創の処置が終了するとすぐに破傷風トキソイド、テタープリン、抗生剤を注射したため、すべて

の処置がうまくいき退院につながりました。

傷が治るにはいくつかの要素が必要です。第一に清潔であること。子供が砂場でころんで膝をすりむきました。母親は消毒薬をぬるだけです。傷に砂が残っているので必ず膿がつかます。私でしたら、タオルに石鹼をつけて、風呂場の蛇口のそばで水を流しながら泣くのもかわりません。その後、消毒します。

第二に創の密着と安静です。切り口をぴったり合わせるのに縫合します。これも受傷後六時間以内に縫わなければなりません。日曜日でも受け付けていますので、まずは病院に電話をして来てください。縫った後も、傷の部分を激しく動かさず密着が保たれまので治るのが遅くなります。

第三に栄養です。傷が治るのに蛋白質が必要です。偏食をされる方や、代謝のおそい老人は傷が治るのに時間を要します。

第四に後療法です。手の傷などで指先が伸ばせないと、曲げられないとかいう時でも、自分で少し痛いのがまんして努力することにより、機能回復が

第五にへたな止血をしないことです。タオルでしばってくる方がいますが、ほとんどの方が締め方がたりず静脈のうっ滞をまねいて出血を助長しているだけです。脱脂綿を傷につけてくの方がいますが、これも処置の邪魔になるだけです。よもぎをつけてくる方にいたってはもうやめてほしい限りです。傷を汚くし、泥をぬるようなものです。血を止める時は、血の出ているところをきれいな布などでおさえておくだけで結構です。

派手な少年非行の防止

県警防犯少年課のまとめによると、昭和六十三年の県内の少年非行は二千八百八人で前年より百四十五人(七・四%)増えています。

特に、中学生による犯罪の増加が目立っており、学校と地域・家庭が連携した、非行を誘発しにくい環境づくりに取り組みましょう。

○子供と話し合いの機会をつくりましょう。

○二つ叱ったら、三つほめる心



がけを忘れないようにしましょう。

○少年に悪影響を及ぼす有害環境をみんなで排除していきましょう。



一生の間でケガなしに天寿を全うする方など希でしょうから、自分がケガをしたらどうするか小さい子供のうちに正しい知識を親は伝えたいものです。



町制施行 20周年記念式典

本町は昭和四十四年四月に町制を施行して以来、本年度二十周年を迎えますが、これを記念して、次のとおり式典が行われます。

- ▽日時 4月1日 10時30分
- ▽場所 東郷町中央公民館

老人家庭奉仕員 派遣について

この事業は、身体上または精神上の障害があつて日常生活を営むのに支障のある老人の家庭に対して、奉仕員を家庭に派遣しお世話を行うものです。

▽派遣対象
老衰、心身の障害及び傷病等の理由により臥床しているなどおおよね六十五歳以上の者のい

る家庭。

▽派遣サービスの内容

- ① 食事の世話や身の回りの世話など、家事・介護に関すること
- ② 相談、助言に関すること。
- ▽費用の負担
家庭の所得税額に応じ、派遣費用を負担することになります。
- ▽問い合わせ
詳しくは、役場住民課へ。

行政相談 人権相談

国の仕事をはじめ、県や町の仕事に対する苦情や要望、また人権に関する相談を受け付けます。

- ▽日時 4月18日 9時～15時
- ▽場所 東郷町老人福祉館

当日以外は、自宅で受付けていますのでお気軽にご相談ください。

- 行政相談委員
東郷町仲深 山口俊一
人権相談委員
東郷町寺迫 黒木利松
羽坂 山本和年
越表 海野俊男

心配ごと相談

心配ごと・悩みごとなど、どんなことでもお気軽にご相談ください。

なお、各地区の相談委員(民生委員)による地区相談も、毎週火曜日にそれぞれの相談員宅で開設していますので併せてご利用ください。

消費生活相談

消費生活に関する買物相談(表示の見方等)、苦情相談(商品やサービスの安全性、品質、取引方法、契約を解除したいというような相談等)などについてくらしのアドバイザーが相談に応じています。お気軽にご相談ください。

- ▽日時 4月18日 9時～15時
- ▽場所 東郷町老人福祉館

一般健康相談

- ▽期日 4月15日
- ▽場所 東郷町老人福祉館
- ▽受付 9時～10時

赤ちゃん 妊婦相談

- ▽期日 4月26日
- ▽場所 東郷町中央公民館
- ▽受付 9時30分～10時30分

四月の 主な行事

- ▽4月1日 頌徳祭
- ▽4月3日 戦没者合同慰霊祭
- ▽4月6日 坪谷保育園入園式
- ▽4月7日 鶴野内保育園
- ▽4月8日 中学校入学式
- ▽4月10日 小学校
- ▽4月11日 寺迫幼稚園入園式
- ▽4月12日 東郷幼稚園
- 坪谷幼稚園

今月の納税等
軽自動車税全期
固定資産税一期



忌明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のための善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

◎鶴野内の新本幸男さんから(君江さん・82歳ご死去)

◎迫野内の黒木芳雄さんから(ツルエさん・67歳ご死去)

◎鶴野内の伊東政実さんから(静雄さん・76歳ご死去)

◎小野田の井上孝雄さんから(上之進さん・85歳ご死去)

◎羽坂の中田広美さんから(サイ子さん・35歳ご死去)

戸籍だよりの

(二月届出分)

出生 おめでと

赤ちゃんの名	父の名	住所
菊池佑亮	幹男	鶴野内
山元香苗	文明	越表
田中大地	勇一	鶴野内
稲田将貴	友晴	坪谷

死亡 ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
野別ミツ	73歳	寺迫
新本君江	82歳	鶴野内
黒木ツルエ	67歳	迫野内
伊東静雄	76歳	小野田
中田サイ子	35歳	羽坂
井上上之進	85歳	小野田